

02 特集

ポピュラーミュージックの原点  
音楽を通して  
社会と人をつながる

06 音楽と生きる

高田 泰治さん

チェンバロ・フォルテピアノ・ピアノ奏者

大学の  
どこかわかる  
かな？

詳しくは  
P15を  
見てね

CONTENTS

05 Concert Report  
新任挨拶

08 大音生リアル  
特別編

10 NEWS Index  
・Daion Report  
・研究室訪問  
・大音生なら必ず聴きたい「100曲」中村孝義  
(音楽学・理事長)

13 キラリ★輝く  
大音の星  
・コンクール受賞  
・活躍する卒業生  
・NEWリリース

14 CAMPUS  
Information

15 演奏会  
Information  
6月～10月

16 ・下手の考え  
休むに似たり  
～学長日記～  
・教員ルーエッセイ  
池田 重一  
(ホルン・准教授)

「ON-AR」

スマホで動画が見れる!?

ポピュラーミュージックの原点

# 音楽を通して つながる 社会と人と

22年前、日本で初めてポピュラー・コースが設置された大阪音楽大学短期大学部。

常に最先端の教育プログラムを提供しつつ

「ポピュラーミュージック」の歴史を踏まえた洋楽をベースに実績を積み重ね、常に日々進歩を続けるポピュラー音楽ビジネスの現場に的確に対応できる人材を育成し続けています。

今号では「大学で学ぶポピュラーミュージックとはなにか」をテーマに現在ポピュラー・コースでヴォーカルを学ぶ在学生4人と、コース主任の塩谷信廣教授にざっくばらんに語り合っていました。



文 秀香  
ぶん ひでか  
ポピュラー・コース  
2年・ヴォーカル

どんな将来を描いているか  
それさえ掴めば  
道は見えてくる

**塩谷** ポピュラー・コースができた当時は入学してくる誰もが「歌手になりたい」「ミュージシャンになりたい」というシンブルな目的を持っていた。ただ最近では多様化というのかわからないけど「入学の目的」がわかりにくくなってきている。

「誰もがプロになれるわけじゃない」とわかっているほど冷静に社会を見ているわりには、大学で勉強する目的を明確にできていないかというところではないような気がするけど、みんなはどうかな？

**赤坂** 将来的に「プロとして活躍したい」と思っているけど、やりたいジャンルや形態は絞り切れていないのが正直なところ。入学して勉強しながら決めていければ、と思っています。

**塩谷** 「プロ」といっても「どんなプロ」なの？ CDを売って活動する「プロ」もいればホテ

ルやラウンジで歌う「プロ」もいる。在学中にぜひ「どんな」プロになりたいのかを見極めてほしい。

**赤坂** お店やホテルなど「大人向け」の場所で歌っていきたいとは考えています。

**塩谷** そこまで具体的にイメージできているなら「もっとレパートリーを増やさない」「ジャズも勉強した方がいい」などいくらでもアドバイスできる。そのためのレッスンができるし勉強するべきことは山ほど伝えられるから。

**プレイヤーだけじゃない  
未来の道は開けている**

**山村** 私はもともと「歌手になりたい」と思って入学しましたが、勉強しているうちに「裏方」としての仕事に興味が出てきました。プロデューサーとして音楽を創る側になるとか、インストラクターとして教えることにも興味があります。

**塩谷** ここで勉強しているうちに音楽産業にはさまざまな





## 塩谷 信廣 教授

しおたに のぶひろ  
ポピュラー・コース主任。  
92年に大阪音楽大学短期大学部にポピュラー・コース誕生時より主任を務める。



## 赤坂 朋美

あかさか ともみ  
ポピュラー・コース  
2年・ヴォーカル



## 山村 麻依

やまむら まい  
ポピュラー・コース  
2年・ヴォーカル



## 廣瀬 友美

ひろせ ともみ  
ポピュラー・コース  
2年・ヴォーカル



仕事の種類があるということに気付くと思う。プレイヤーだけじゃない、インストラクターやPA、クリエイターとして音楽を創ることもそう。演奏する側だけでなく、こうした裏方の仕事に興味が出てくるというのはとても大切なことだと思う。「インストラクター概論」や「ミュージック・ビジネス・マネジメント」などの授業はそのために開設したからね。

### 廣瀬 友美

生もいる。歌手になれなかったんじゃない。歌手に「ならなかった」だけ。プレイヤー以外の道を選択することも自由。海外留学はその可能性を広げてくれるかもしれない。「音楽」がそれぞれの道の入り口となっていることには間違いない。音楽を通して音楽以外の道を見つける人もたくさんいるからね。

### 内向き志向にならず 世界へ目を向けること

廣瀬 私は高校から音楽コースに通っていたので、音楽大学に進学してもっともつとまくなりたいという気持ちが強かったんです。だから音楽が専門的に学べるこの大学がとても魅力的に見えていました。ポピュラー・コースの人数も多く、仲間がたくさんいることも良かった。でも実際のところ今はまだ将来のことははっきりと決められていません。「とにかくうまくなりたい」という思いが強かったので、卒業後もアメリカに留学して継続して勉強していきたいと考えています。

文 私は自分の歌に「足りない部分」を実感していて、その足りない部分を身に付けるためにここに来ました。漠然とした夢ですが「人に何かを伝えたい」と思っています。そのためにはまだまだ自分のオリジナルティが足りないと思っています。

塩谷 卒業生の中には現在海外に留学している人や海外で音楽活動をしている人もたくさんいる。中には海外で音楽をするために語学を勉強しているうちに語学が得意になり、通訳の学校をつくってしまった卒業

塩谷 ポピュラー・コースは短大にしかない。正直2年間勉強しただけですが、歌手になれるなんていう甘い話はまずないと思う方がいい。運良く卒業後すぐにデビューできたとしてもなかなか先が続かない。私が提案するのは卒業後、2年くらいは大音で学んだことを思い切り活用すること。とにかくこの期間は自分の可能性にチャレンジしてほしい。大学で

レッスン・授業をのぞいてみよう！

ポピュラーコースの個人レッスンと授業「ポピュラー・ヴォーカル・セミナー」の様子を動画で見ることができます。スマートフォンをかざしてみてください。再生するにはアプリ(無料)のダウンロードが必要です。詳しくはP15をご覧ください。

▶個人レッスン



「ON-AR」



社会とつながる人材を育てる

ポピュラー・コース主任 塩谷 信廣

今から22年前の1992年、大阪音楽大学短期大学部にポピュラー・コースを開設しました。当時、音楽大学でポピュラーミュージックを本格的に学べるコースを持つ大学はほかになく「音楽大学だからこそ学べる」メソッドを確立。現在までに社会で活躍する卒業生を多数送り出しています。ポピュラーミュージックのルーツである洋楽を授業の中心とし、普遍的な基礎力をしっかりと身に付け、最先端の流行を取り入れながらも息の長い活動をしていくためのベースを作ります。

音楽を取り巻く状況は刻一刻と変化しています。例えばレコードからCD、そして今はダウンロードして聴く時代。でも聴き方は変わっても音楽を愛する気持ちは時代に関わらず変わりません。既存の形にこだわることなくいかに柔軟に対応していけるか。社会状況を見極めながら常に変化を恐れない姿勢が必要です。

知識や情報のもとより、アーティストとして生きていくあらゆる術を、短大の2年間という限られた期間でできる限り学生には伝えたい。若さもまた一つの武器になるポピュラーアーティストの世界では、できる限り若いうちに社会に出て、経験を積んでほしいという思いから短大にのみ開設しています。卒業したらどんな大人になりたいのか。しっかりと自分の頭で考え、うわべのはやりに流されない、芯の通った人間をつくりたい。卒業生には音楽をする楽しさと意味を深く考え、社会としっかりつながってほしいと願っています。

学んだことをなにも活用せず  
に終わってしまう人も意外に  
多い。授業中にあれだけノート  
をとったのになぜ活用しない  
の？ 授業で取りあげたア  
ーティスト、練習した曲やポピュ  
ラーの歴史、国のこと。それら  
を見直して勉強し直す。お店  
やレコード会社に売り込むの  
もいい。ただ待っているのはダメ。  
能動的に動かなきや。「音楽的  
自立」を目指してほしい。その

ためのアドバイスはいくらで  
もする。経済的な自立はもちろ  
んのこと、需要と供給を見極め  
て自分で開拓して音楽活動を  
していけること。それができる  
人は一般企業へ入っても音楽  
以外のことをしていくにして  
も成功できる。

自分には「これだ！」という感覚  
がありました。だから洋楽を基  
礎から勉強できる大音は自分  
に合っていると思いました。

**赤坂** 大学という環境がほか  
とは違うのは、やはりじっくり  
と教えてもらえることだと思  
います。音楽ってとにかく「自  
分が楽しければ」という感覚に  
陥りがちなのですが、ここでは  
「お客さんがどう感じるか」と  
いう客観的な視点からのアド

ポピュラー・コース・コンサート

年に1度、1月に行われる2年間の集大成的なコンサート。学外のホール(サンケイホール プリーゼ)を利用し、演奏のみならずパフォーマンスからステージング、司会、集客に至るまでポピュラーコースで学んだことを実践する貴重な場となっています。



オープンカレッジ開催中！

「真のポピュラー音楽」を知るための基礎知識を学べる「オープンカレッジ」を高校生対象に開催しています。歴史のある音楽専門大学の講座で、ポピュラー音楽を学んでみませんか？

受講料は無料。年間16回行っており、1回のみ受講も可能です。詳しくは大阪音楽大学ポピュラー・コースのサイトをご覧ください。

<http://daion.ac.jp/pc/index.php>



バイスがある。

**塩谷** 「社会が何を求めているか」を考えることは大切にしてほしいところ。ポピュラーミュージックを学ぶ学生に一番言いたいことは、とかく内向き志向になりがちな日本国内の音楽業界の中でも「社会とつながること」「世界へ目を向けること」ができれば自然と受け入れ先が出てくるし、音楽的自立が可能になるのです。

2014年3月2日(日)ザ・シンフォニーホール

## 大阪音楽大学 第45回 吹奏楽演奏会

第1部は北野徹教授による指揮で2014年度全日本吹奏楽コンクール課題曲とO.レスピーギ作曲「交響的印象[教会のスタンドグラス]より」ほか。第2部は丸谷明夫特任教授による指揮。ラストは客席にも奏者を配してのP.I.チャイコフスキーの「大序曲『1812年』作品49」。大迫力の演奏に満員の客席から大きな拍手がわき起こりました。



2014年2月22日(土)ザ・カレッジ・オペラハウス

## 大阪音楽大学短期大学部

### 第19回 吹奏楽演奏会

丸谷明夫特任教授(2014年4月より客員教授)、小野川昭博講師、伊勢敏之講師のそれぞれの指揮による3部構成。2014年度全日本吹奏楽コンクール課題曲の「最果ての城のゼビア」、そして本学卒業生である合田佳代子さん作曲の「『斎太郎節』の主題による幻想」も演奏しました。



2014年5月21日(水)ザ・カレッジ・オペラハウス

## 2013年度大阪音楽大学音楽学部最優秀賞受賞者演奏会

### 第11回 ザ・ローレル・コンサート

2013年度最優秀賞受賞者による演奏会。箏、声楽、ピアノ、サクソフォンの4名が出演しました。



▲橋本 桂子さん(邦楽専攻卒)



▲乾 将万さん(ピアノ専攻卒)



▲日隈 葉子さん(声楽専攻卒)



▲藤田 麻緒さん(管楽器専攻サクソフォン卒)



### 皆さんの夢の実現のために お手伝いしたい

木田 雅子 特任准教授 (管弦打)

確かな音楽の基礎を学び、身に付けることで学生の持つ豊かな感情を高い音楽性に結びつけることができます。喜びも、不安も共に分かち合える教師でいたい、皆さんの夢の実現のためのお手伝いがしたいと願っています。

大阪音楽大学大学院修了。付属高校在学時に全日本学生音楽コンクール全国1位。日本各地をはじめカナダ、アメリカ、ドイツ、オーストリアなどでも演奏活動を行う。コンクール審査員や小さな子どもたちの指導にも情熱を傾けている。



### 集中して勉学に取り組める 素晴らしい環境の中で

岡田 和子 助教 (教養教育)

大学に来てまだ数カ月ですが、とても穏やかな雰囲気の中、集中して勉学に取り組める環境だと感じています。学生にエネルギーをもらいながら、新鮮な生活がスタートしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

1985年生まれ兵庫県出身。2011年京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻修士課程修了。大学卒業後、西陣の織物屋で3年程勤務。現在は京都で版画やドローイングの作品を制作、発表している。



### 貴重な体験を 指導に生かしていきたい

北浦 洋子 特任准教授 (管弦打)

神戸市室内合奏団コンサートミストレスとして培った経験と文化庁の在外研修、ロームミュージックファンデーションの在外研究で学んだ貴重な体験を後進の指導に生かしていくことで、大阪音楽大学弦楽器の発展に力を注ぎたいと考えます。

大阪音楽大学卒業後、ハノーヴァー国立音大大学院に留学。文化庁在外研修員、(財)ロームミュージックファンデーションの音楽研修生として渡英、渡独。コンクールなどで受賞多数。ドイツのインターナショナルムジークアカデミー他各講師。



### 教育問題の正確な 現状把握から始めましょう

横山 政夫 教授 (教職)

教育に関するニュースがあふれていますが、正確な現状把握に基づいているでしょうか。「凶悪非行が増加」「青少年の自殺の原因はいじめが多い」「教員の力量低下」などの言説は、事実在即しているでしょうか。諸言説を冷静に吟味し、教育問題について考えていきましょう。

兵庫教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了。大阪の小・中・高校生・教員を対象にアンケート調査を実施し、「教師の多忙化とバーンアウト」[21世紀を生きる子どもたちからのメッセージ] (共著) を出版。

今年度より特任准教授・専任になられた教員よりメッセージをいただきました。

## 新任教員紹介

### 資格変更教員

上塚 憲一 教授  
(管弦打)

喜多 忠政 教授  
(教職)

木村 寛仁 教授  
(管弦打)

平山 るみ 准教授  
(教職)

藤井 快哉 准教授  
(ピアノ)

# 高田 泰治

チェンバロ・フォルテピアノ・ピアノ奏者



## いつでもオープンな 自分

モーツァルト、  
ベートーヴェンを  
再現したコンサート

個人練習、オーケストラとのリハーサル、本番の数々をこなす毎日。大阪音楽大学の先輩でもある延原武春さんが在学中の1963年に設立された日本テレマン協会の所属アーティストとして、さまざまな場所で演奏活動をさせていただいています。日本テレマン協会はその名前の由来にもなっている作曲家で

あるG.P.テレマン（1681年～1767年）をはじめとし、バロックからベートーヴェンまでの演奏を専門とする室内楽団「バロック音楽の普及・啓蒙」と「楽しさ」をテーマに、新しい演奏会の可能性を追求しています。私はそこでチェンバロ、フォルテピアノとモダンピアノの演奏者として定期演奏会やマンスリーコンサート、ソロコンサートなどに出演。また最近ではバロックヴァイオリンのU・ブンティース氏とデュオでの演奏もしています。ドイツでも年に約20公演を行っており、日本とドイツの

往復で忙しくも充実した演奏活動をさせていただいています。

ピアノという楽器は時代によって構造が大きく変化してきました。モーツァルトの曲にはモーツァルトの時代のピアノを、ベートーヴェンの曲にはベートーヴェンの時代のピアノを使い、その時代に演奏された形式と雰囲気そのままに再現することはとても大切なことだと思っています。奏法は大きく違うわけはありませんが、楽器の構造が違うので、鍵盤のタッチもアクションも全く違います。時代が新しくなると、ピアノはより大きな音が出るように改良されてきたわけですから、楽器も大きくなり、材質も木枠から鉄骨へと変わってきました。例えばモーツァルトの時代には現在聴かれてい

### 高田さんの出演する コンサートスケジュール

L.v.ベートーヴェン ピアノ協奏曲全曲公演  
フォルテピアノ：高田 泰治

指揮：延原 武春

テレマン室内オーケストラ(クラシカル楽器使用)

日時：8月28日(木)第1番・第3番(第2回)

11月20日(木)第5番 第0番(第3回)

※第0番を含む全曲演奏は日本初。第1回目は5月15日に終了

ほか出演公演多数。詳しくは日本テレマン協会のHPをご覧ください

<http://www.cafe-teleman.com/>

●たかた たいじ  
2000年大阪音楽大  
学音楽学部ピアノ  
専攻卒業。02年同  
大学院修了。ピアノ、  
フォルテピアノお  
よびチェンバロ奏  
者として数々のコン  
サートなどで活躍中。



るような環境ではありません。コーヒークラスで皆がお茶を飲みながら聴くというような大衆音楽でした。今は「芸術」と呼ばれる音楽もその時代には身近なものだったのです。現在のピアノよりは音も格段に小さいので大ホールでは届きません。この時代の雰囲気を再現するべく小さなサロンの演奏会を大切にしています。

## 友人に恵まれた大学生活

幼稚園の頃に友人がピアノを習っているのを見てうらやましくて仕方ありませんでした。自分もやってみたいと思い、両親に頼んでみましたが許してもらえません。「どうせすぐやめるだろう」と思われていたみたい(笑)。「小学校に入ってもまだやりたいと思うならやってみよう」という両親との約束を忘れず、小学校入学とともに念願かなってレッスンに通わせてもらえることに。中学校に入っ

てからは吹奏楽部でオーボエを吹き始め、ますます音楽にのめりこむ生活。高校に入ると大阪音楽大学の付属音楽学園(現・付属音楽院)に通い、本格的に音楽大学を目指す生活になります。この頃にはよほど音楽が性に合っていると両親も認めてくれたのでした。反対されることも

なく大阪音楽大学に入学することになりました。

友人もたくさんできて毎日が本当に楽しかった大学生活。同学年のピアノ専攻には男性が4人しかいなかったこともあり、いつも行動は一緒。ランチも一緒、授業も一緒に受けてからその後はお互い練習室に入り、最終時間まで練習してまた待ち合わせて一緒に帰る(笑)。授業のない時には4人で遊びに行くこともあり、とにかく友人には恵まれました。また伴奏を頼まれていた関係で声楽の友人も多くできました。彼らのオペラ公演を見に行ったり、練習の様子を聞いたりしていると、ピアノ専攻の孤独な練習とは違ってみんなで一緒に練習することがうらやましい！なんて思ったこともありましたね。

## 「無理」だと思っても挑戦し続けること

大学院を修了後、助手として2年間大学で仕事をしていました。その頃からたびたびチェンバロを弾く機会をいただき、興味が湧いていました。当時、チェロの上塚憲一先生がベーターヴェンのチェロソナタ全曲演奏会をされることになり、僕もピアノで出演させていただくことに。演奏

会が近づいたある日、上塚先生が「古楽器でやりたい」と言われたことにより、思いもよらなかったフォルテピアノを弾くことになりました。興味はあるもののまさかいきなり人前で弾くとは思ってもみません。正直焦りました。しかしこの演奏会を乗り越えたことで、よりこの楽器たちに興味を持ち、のめりこむきっかけとなりました。決してモダンなものに興味はなくなつたわけではありませんが、古い楽器は弾けば弾くほどさまざまな魅力が発見できるのです。

いつも演奏のお話をいただくときは「本当に自分でできるのだろうか」と思うのですが、無理だからやめるのではなくいつも挑戦する、という姿勢で臨みます。2010年から3年間にわたってモーツァルトのピアノ協奏曲全曲演奏を行ったのですが、最初は「絶対無理！」などと思っていました。でも実際終わってみるとすべてが楽しかった。今では「本当にやってみよう」と思います。「これはできない」などと思わず、柔軟な姿勢でなんでも挑戦してきたことで、結果として今の演奏活動につながってきたのではないかと思います。これからの出会いを大切に、常に「オーブンな自分」でいることを心がけて、さまざまな場所で弾き続けていきます。

▶ドイツでのソロ公演の様子



◀ドイツ・ボン近郊レマーゲンの聖アンナチャペルでU.ブンディース氏(バロックヴァイオリン)との共演



# 特別編

フランス・パリで行われている世界的コンクールである「ロン＝ティボー国際音楽コンクール」において弱冠20歳で第1位を受賞。7年間にわたるオーストリア・ザルツブルクでの留学生生活を経て現在大阪音楽大学大学院に在籍中の田村響さん。改めて大音で学ぶことになった経緯やピアノと向き合う生活について、オーストリアでの生活や現在の大阪での学生生活のことをたっぷりと語っていただきました。インタビュアーは音楽学者として、音楽評論家として新聞や雑誌でも活動している、中村孝義理事長(音楽学教授)です。



## さらなる成長を求めて

**中村** これまで何度か田村さんの演奏を聴かせていただきましたが、本当に素晴らしく、深い感銘を受けました。ロン＝ティボー国際コンクールで優勝した時はザルツブルクに留学中でしたね。

**田村** はい。高校卒業と同時にモーツァルトウム音楽大学に留学して2年目のことでした。ザルツブルクはゆったりとした雰囲気のある綺麗な町で、私が入居していた家から見る眺めもとても素晴らしいものでした。

**中村** 私もヴェルツブルクという小さ

な町に留学していたからその雰囲気はよくわかりますよ。もともとミュンヘンに行きたいと思っていたのだけれど、日本で学んでいた時の先生の友人がヴェルツブルクで教えているというので、その関係で行くことになりました。田村さんは7年間いらっしやったんですね。なぜ日本に戻ってこようと思っただけでしょうか？

**田村** 「もつここにいてはいけない」と思ったからです。7年の間に周りの環境はもちろん、自分自身の変化が一番の理由だと思います。新たな環境や活発な場所を求めてベルリンやミュンヘンのような大きな街に移ることも考

## 中村 孝義理事長 × 田村 響



えました。しかし、一番求めたことは本当の意味で人間として成長できる場所でした。そんな時、私の12歳からの師であるクラウディオ・ソアレ先生の(※)に相談したところ、大阪音楽大学大学院で勉強する提案をしていただきました。それがきっかけで、私のことを音楽だけではなくいろいろな面を理解して下さっている方の近くに行くことを選択しました。日本に戻ってきたのではなく、次なる場所が日本だったという感覚です。

## 大阪は楽しい 温かい人たちに恵まれ感謝

**中村** 愛知県出身の田村さんが大阪という地で勉強されることは予想されてなかったのでは？ 入学されて1年と少し経ちましたが、大学生活はいかがですか？

**田村** 中高生時代にソアレ先生がいらっしゃる堺まで、愛知県から片道3時間かけて通っていました。ですから少し馴染みがありました。実際に住んでみて「とても楽しい！」と感じています。大学院では授業もレッスンも非常に充実しています。大学内でわからないことなどは、周りの院生や先生方が親切に教えてくださり、温かいサポートに恵まれて今の自分がいるのだと実感しています。

**中村** 演奏活動も頻繁にされているのに大学院との両立は大変でしょう。

**田村** 一年間過ごしてみても、正直大変でした。平日に授業と練習、週末は演奏会、という日々でした。しかし、そのような環境の中でも乗り切れるのだという勇氣と強さを備えるため、そして短い練習時間の中でも演奏会の曲を仕上げる訓練なのだと思えていました。留学前は夜遅くまで練習可能だったので、夜練習していないと罪悪感に苛まれていました。しかし、ザルツブルクでは夜8時までしか家で練習することができませんでした。練習のできない時間に家事をしたり友達と思い切り騒いだりすることで、時間配分や気持ちの切り替えにメリハリがつき精神的な解放感を味わえるようになりました。練習だけではなく、すべての経験や環境が自分の糧になるのだと確信しています。

## 向上・成長・発展 次なる「田村響」を目指して

**中村** 若いのにしっかりしていますね。人間力を発揮するためにはただがむしゃらに頑張っているだけではダメで、なにごとにもバランスが大切。私はまだなかなかそこまでいきません(笑)。

**田村** 人それぞれバランスは違うと思います。私はそのような経験をして、

休む時間もとても大切なのだと実感しました。休んでいる間に練習したことが体内で消化され、再び楽器に戻った時に成長した自分を実感し、音を奏でられることにあらためて感謝する気持ちも生まれます。筋トレをした後に休息が必要なのと似ていますね。よく食べてよく寝ると次の日に肌の調子がいいとか！(笑)

**中村** 大学院修了後のことは考えていますか？

**田村** 今は考えていません。この大学に来たように、その時になれば出会うべき人や環境が用意されると信じています。もちろん自分の意志があつてのことですが、私はどのような場所であつても常に、向上・成長・発展を目指し精進する姿でありたいと思います。

**中村** 田村君のように、さらなる成長を求めて大学院に戻ってきてくれる人が増えればよいのですが。残り1年の大学院生活の充実と、演奏家としてのさらなる発展とご活躍を祈っています。

**田村** ありがとうございます。

※クラウディオ・ソアレ 大阪音楽大学特任教授。ヨーロッパや日本、中東のオーケストラとの共演経験を持つピアニスト。指導者としても数多くの国際コンクールの受賞者を輩出した実績を持つ。

### 私のプロフィール



1986年愛知県安城市生まれ。18歳でザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に留学。2007年パリで開催されたロン＝ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位受賞。7年間のオーストリア滞在を経て2013年大阪音楽大学大学院入学。現在2年生。2003年アリオン賞、2006年第16回出光音楽賞、2008年文化庁長官表彰国際芸術部門、安城市市民栄誉賞、2009年第10回ホテルオークラ音楽賞を受賞。



### 定期演奏会に出演決定！

大阪音楽大学 第57回定期演奏会

日時：2014年12月5日(金)19時開演

会場：ザ・シンフォニーホール

曲目：S.ラフマニノフ「ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18」

(ピアノ：田村 響) ほか

お知らせ



## ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団と新国立劇場合唱団 合同演奏会とオペラ合唱ワークショップを開催

3月28日(金)、ザ・カレッジ・オペラハウスにて「ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団・新国立劇場合唱団合同演奏会とオペラ合唱ワークショップ」を行いました。これは文化庁委託事業「平成25年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として初められるもの。あらかじめ受講者を募集、当日はその成果の発表の場としてコンサートと公開ワークショップを行いました。指揮の新国立劇場合唱団の三澤洋史さん、演出の岩田達宗さん、ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団の牧村邦彦さんという豪華指導者が顔をそろえ、前半は



▲前半は合唱曲の合同ステージ

はじめ受講者を募集、当日はその成果の発表の場としてコンサートと公開ワークショップを行いました。指揮の新国立劇場合唱団の三澤洋史さん、演出の岩田達宗さん、ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団の牧村邦彦さんという豪華指導者が顔をそろえ、前半は



▲後半は指揮の三澤さんと演出の岩田さんによる指導



◀「陰コーラス」のため、この棒指揮を特別に披露する岩田さん

G・ヴェルディ「ナブッコ」より合唱曲ほか全6曲を披露。後半は実際に三澤氏と岩田氏による立ち稽古。コーラスのための指導によりみるみる受講者たちの動きが変わっていき、最後には迫力ある合唱と演技に会場からも大きな拍手がわき起こりました。



## 中村孝義理事長が解説 高槻でレクチャー「魔笛」を公演

3月30日、高槻現代劇場中ホールで「レクチャー+オペラ『魔笛』」が行われました。W・A・モーツァルトの晩年の傑作「魔笛」を中村孝義理事長(音楽学・教授)が監修・お話を担当、「モーツァルトが『魔笛』で表現しようとしたこと」をテーマに解説を聴きながらコンサート形式での全曲演奏を楽しめるもの。歌手にはオペラ界で活躍するプロが集结。大阪音楽大学の指導陣と卒業生が多数出演しました。この催しは高槻市文化振興事業団設立25周年記念事業の一環として行われたもので、人気の演目とあって会場は大勢のお客さまが来場され、大盛況となりました。



▲バミーナ役の石橋栄美准教授とタミーノ役の中川正崇さん



▲監修とお話の中村孝義理事長



▲左よりダーメの荒田祐子教授、並河寿美准教授、松田昌恵教授



▲パパゲーノ役の晴雅彦准教授とピアノ伴奏の關口康祐さん



## 「身体を使ってアンサンブル演奏を楽しもう」

今年度より客員教授となったクラリネット奏者のフローラン・エオー氏(パリ市立地方音楽院教授)



▲特別講義の様子

が4月17日、本学で特別講義を行いました。詳しい楽曲解説を交えた指導に大勢の受講生が集まりました。また学外では東海大学付属仰星高

等学校を会場とし、中高大学生を対象に「身体を使ってクラリネットアンサンブルを楽しむ会」を開催。踊りながら演奏する愉快なクラリネットアンサンブル音楽劇「レ・ボン・ベック」のトップメンバーでもあるエオー氏がその楽しさを分かち合うため、今回日本で初めて開講。子どもたちに「体で表現しながら演奏する」楽しさを伝授されました。「日本人の子どもたちがどのように受け止めて反応するのははじめは予測できませんでしたが、楽しそうに元気に演奏する様子を見て新しい発見や学びがありました(エオー氏)。参加者も見学者も本当に楽しかった」と、笑顔あふれる会となりました。



## NHK「スーパー合唱教室」指導者に本山秀毅教授

3月にNHKみんなの広場ふれあいホール(東京・渋谷)で合唱指揮者が一般公募の小・中・高校の児童生徒たちに課題曲のレッスンをを行う「スーパー合唱教室」が開催され、本山秀毅教授が「中学校編」の指導者として出演。課題曲のAT&T「SHI」さん作曲「桜の季節」を題材に指導した模様が5月中の土曜日に「Nコンマガジン」スーパー合唱教室「Eテレ」として放送されました。

「20数校から集まった当日初めて顔を合わせる生徒たち。最初は知らない者同士の緊張感もあったようですが、声を重ねていくうちに次第によい表情も生まれ、最終的にはエネルギーあふれる合唱

となりました。これからNHKホールを目指して多くの皆さんがこの曲を課題に合唱に取り組むことでしょうか。全国の中学生たちの健闘を心から応援しています(本山)。



▲スタジオ収録の様子



音楽博物館を見学

## 福島県須賀川市長と玉川村長が来学

このたび福島空港と大阪空港を結ぶ大型飛行機が就航。その福島空港の所在地である福島県須賀川市の橋本克也市長と玉川村の石森春男村長が豊中市役所の都市計画推進部半田政明さんと川本圭司さんと共に5月13日(火)音楽博物館を来訪されました。各国の珍しい

民族楽器を見学し、また、モーツァルトやベートーヴェンの時代のピアノを、卒業生の辻村ゆずさんの演奏で楽し



旭日双光章

## 中島警子名誉教授が受章

中島警子名誉教授が旭日双光章を受章しました。中島名誉教授は1967年大阪音楽大学短期大学部に筆課程開設時に専任講師として勤務以来、95年の定年退職後も04年まで大阪音楽大学で教育活動を継続。在職中には大阪府知事表彰、大阪市民賞など、多数の受賞

歴があり、関西が誇る邦楽家として偉大な足跡を残されています。



▲音を聴くことがとにかく好き。家には約2000枚のCDを所有



研究室にはバッハのCD全集がズラリ

## 研究室訪問

普段はなかなか入ることのできない先生の研究室にお邪魔します！

今回お訪ねしたのは……

里井 宏次 教授  
(担当科目:合唱)H号館307号室

### 音楽家としてトレーニングを欠かしません

大阪音楽大学に勤めて今年で40年。仕事も趣味もすでに生活のほとんどが音楽ですので、時間のある時は専ら音楽を聴くことが日課となっています。それも大学の授業で使用する教材や、私の持つ合唱団「ザ・タロー・シンガーズ」の演奏会で取り上げるために聴いておきたい音源などが大半。オペラや歌に関するものばかりでなく、ピアノやヴァイオリン、オーケストラなどジャンルは多岐にわたっています。CDショップで選ぶこともありますが、最近ではインターネットで検索して注文することが多くなりました。この研究室では音楽を聴いていることが多く、ソファとコンポ、CDを置いている以外はほとんど物を置いていません。授業の準備は家ですることが多いので、ここはまさにリスニングルームのように使っています。

年齢を重ねるとどうしても体のあちらこちらに影響が出てきます。幼い頃から剣

道をしていましたので体を動かすことには慣れていますが、現在も毎朝のトレーニングは欠かしません。早起きして40分ほどストレッチなどをすると体がシャキッとリセットされたように快適になります。これまで一度もノドを痛めたことがない、というのは私の自慢。それもトレーニングのおかげかもしれません。

若い学生の皆さんには「もっとハングリーで貪欲になれ」と言いたい。学生時代はどんな方法でも勉強はできるものです。せっかくの音楽にあふれたこの環境をもっともっと活用してほしいですね。私自身は大学での教育に加え、アカペラ合唱にこだわった「ザ・タロー・シンガーズ」の活動はできる限り続けたい。音楽家になって幸せだとつくづく思うし、生涯現役で音楽に携わるためにその努力は一生涯続けたいと思います。

## Daion Report

～海外見聞録～

学生が見た! 聞いた! 海外体験をお送りします。

樹田 千穂さん(大4・フルート)

▶スウェーデンから留学で来ていた友人と



### 心から音楽を楽しむドイツの学生たち

▶上:大学内のレッスン室  
下:休日に観光で行ったフランクフルトの風景

昨年の8月から今年2月までの半年間、ドイツのフォルクヴァング芸術大学に留学しました。以前から留学には興味があり、クラシック音楽を志すには、本場であるヨーロッパを知らなければいけないと常々思っていた私は、大音のこの留学制度を知り、学生の間にヨーロッパで学べる絶好のチャンスだと思い留学を決めました。

フォルクヴァング芸術大学は留学生が多く、世界各国から集まっています。一緒に演奏したり、いろいろな話をする中で、ドイツに居ながらたくさんの国の文化にも触れることができました。

レッスンでは、練習曲のような演奏ではなく「曲中のさまざまなキャラクターを演じる」「もっと自分を大きく表現する」ようにアドバイスされました。また、演奏中の体の力の抜き方や息の使い方、アンブ

シュアの作り方で細かく徹底的に指導されました。今までどれだけ自分で自分を苦しめる吹き方をしていたか気付き、なかなか直せなかった基礎の部分を改善できました。

日本との違いは数え切れないほどたくさんありますが、その中でも日本人にはなかなかできないけれど大切にしなければいけないと思うことがありました。それは、どんな小さな演奏会でもレッスンでも、心から音楽を楽しんで演奏することです。大学で行われた門下生の聴き合い会での友人の演奏には、今まで感じたことのない感動を覚えました。彼らは本当に音楽を楽しんでいました。日本人も、練習も演奏ももっと楽しむこと。そして深く興味を持つことで本当の意味で人の心に伝わる演奏になるのではないかと思います。



### 膨大な作品と最高級の名曲たち

前回のハイドンに続いて、今回からはモーツァルトの名曲を取り上げましょう。モーツァルトはこの時代の作曲家の常として、あらゆるジャンルを手がける作曲家でした。そのため作品数も膨大、質も最高級ですので、限られた曲を聴くことでその全貌を知ることは不可能ですが、ここでは絶対に聴き逃さない名曲を挙げていきたいと思います。

まず今回はその器楽作品から。モーツァルトの愛好者が多いのに比して、ハイドンはあまり人気がありません。しかし両者は親子ほどにも年齢が離れていながら、固い友情で結ばれていました。モーツァルトほどハイドンの音楽の真の意義を理解していた作曲家はいませんし、またハイドンもモーツァルトの天才性を誰よりも認識していたのです。両者の影響

関係を示す典型的な例が「ハイドン・セット」と呼ばれる弦楽四重奏曲集です。モーツァルトはこの曲集に添えられたハイドンに対する献辞の中で、本当に心のこもった感謝の言葉を連ね、ハイドンから受けた恩がいかに大きかったか、それを返すためにどれだけの苦勞をしてこの曲集を仕上げたかを包み隠さず語っています。もちろんセットの6曲が、西洋室内楽史上において最高の評価を受ける逸品であることは言うまでもありません。ぜひその真価を、ウィーン出身のアルバン・ベルク四重奏団の演奏で聴いてみてください。

今回取り上げるもう一つの器楽ジャンルはピアノ協奏曲です。そのほとんどが自ら公開演奏会で弾くために作曲したものですし、彼の音楽的資質に合っていたため、彼の音楽の質が最高度に発揮され

### 今回の推薦曲

- 24 アルバン・ベルク四重奏団  
「ハイドン・セット」弦楽四重奏曲集  
[◎:CD8-19]
- 25 ピアノ協奏曲 第15番変ロ長調  
ブレンデル [◎:CD28-26、CDE4-Ⅲ]  
第17番ト長調 ブレンデル  
[◎:CD28-27、CDE4-Ⅱ]

※ ◎は図書館請求番号を表しています

ています。第8番以降、最後の第27番までは、どれ一つとして見逃せない名品ぞろいですのでどれでもよいのですが、私のお勧めは第15番変ロ長調と第17番ト長調です。ブレンデルの旧盤で聴いてください。その清々しさの中にあふれる豊かな情感や、長調なのに時折よぎる哀感には心を奪われざるを得ません。

7月20日(日)オーブンキャンパスを行います。対象は作曲・音楽学、声楽ピアノ、管弦打楽器、邦楽、クラシックギターを志望の方。在学生オーケストラによる歓迎演奏や無料体験レッスン、教員によるミニコンサート、施設見学ツアー、専攻・コース別の公開講座も多



### 無料レッスンや体験講座も! 夏のオーブンキャンパス開催

数ご用意しています。無料体験レッスンのみ事前申込が必要です。詳しくは大学HPをご覧ください。



▲一足早く大音生気分!



### クライストチャーチ地震復興支援 堅田京子講師がニュージーランドでコンサート

堅田京子講師が2月28日、ニュージーランドのオークランド市にあるホープタウンアルファホールにて「クライストチャーチ地震復興支援ピアノコンサート」を行いました。これは2011年2月にニュージーランドのカンタベリ地方で発生した地震からの復興を支援する目的で行われたもの。コンサートはピアノソロに加えホルン2本とのアン

サンブルを含めたプログラム。お客さまより約3万円の募金が集まりました。「日本からもお客さまがかけてくださり、大変好評をいただきました。多数の募金へのご協力もいただき感謝いたします」(堅田)。



▲現地でのコンサートの様子



### 創立100周年目前! 大音の歴史がわかる ホームページに年表を公開

2015年に迎える創立100周年を前に、5月1日より大学HP上に100年の歴史がわかる「年表」を公開しました。「関西音楽史のなかの大阪音楽大学」をテーマに、毎月10年分ずつ公開していく予定です。当時の貴重な写真や資料が満載です。ぜひご覧ください。ご意見、感想などもぜひお寄せください。「トップページ」から右側の紫色

のバナー「創立100周年記念特設サイト」をクリックしてください。



▲現在は1915年～35年までを公開中

## 祝! コンクール受賞

各種コンクールで受賞された皆さんの喜びの声をご紹介

### 第10回ワークショップ・コンクール

#### 成人ソロ部門 第2位

2013年12月27日(大阪音楽大学ミレニアムホール)

この度はこのような賞をいただき、とても嬉しい気持ちです。昨年2年生の時、特に挑戦しようと思っていたコンクールだったのでよりいっそう喜びが大きかったです。今年度も新たにいろいろと頑張っていこうと思います。



橋川 達郎  
(大3・トロンボーン)

### 第7回エレナ・リヒテル国際ピアノコンクール

#### 大学生・一般の部 第3位

2014年2月15日(日暮里サニーホールコンサートサロン)

この度は、このようなコンクールで入賞することができ大変嬉しく思います。本番では悔いの残る演奏でしたが、このような賞をいただき今後の励みとなっています。これからも日々努力していきたいです。



前川 裕介  
(大4・ピアノ)

### 第51回なにわ芸術祭新進音楽家競演会

#### 声楽の部 新人賞(最優秀賞)

2014年4月30日(サンケイホールブリーゼ)

卒業し環境が変わったばかりでいろいろな思いが交差していましたが、先生はじめさまざまな形で私を支え、導いてくださる方のおかげで受賞することができました。感謝の気持ちをいつも忘れず、前向きに音楽を続けていきます。



日隈 葉子  
(14年卒・声楽)

### 第51回なにわ芸術祭新進音楽家競演会

#### 声楽の部 新人奨励賞

2014年4月30日(サンケイホールブリーゼ)

このような歴史ある芸術祭において賞をいただくことができ、驚きと嬉しさでいっぱいです。ご指導くださった先生方、また支えてくれた家族や友人への感謝の気持ちを胸に、これからも精進してまいりたいと思います。



南 さゆり  
(院1・声楽)

### 第51回なにわ芸術祭新進音楽家競演会 器楽の部 新人奨励賞、近鉄タクシー賞 2014年5月1日(サンケイホールブリーゼ)

プレッシャーもあり、決してよい状態ではなかったのですが、「自分の音楽を聴いてくださっている方々に伝えたい」と考えたら音楽が流れにのっていきながら実感できました。今後も精神的に強くなれるよう精進してまいります。



貝塚 理江  
(11年卒・ユーフォニアム)

### Topics 活躍する卒業生

#### フランスに卒業生が大集結!?

現在、留学や音楽活動のために多くの卒業生がフランスに滞在中。その中の一人、鷹羽萌子さん(12年大卒・クラリネット)がフランスでの様子をレポートしてくれました。

『フォルマシオン・ミュージカル(音楽の土台)』は日本では『ソルフェージュ』にあたりますが内容はとんでもなく難しい。こちらではまず徹底的に音楽の基礎を叩き込まれるという印象です。授業ではお互いの演奏についての感想を言い合い、議論を交わします。意見をはっきりと言うことは大切だし、だからこそ表現が豊かになるのではないかと思います。フランスは街中に音楽があふれていて、電車の中や駅構内で演奏している姿もよく見かけますし、習い事として音楽をする人も多し。コンサートも低料金で見ることができたり、26歳以下のヨーロッパの学生は美術館もすべて無料で入館できたりと気軽に芸術に触れられる文化も素晴らしいと思います。滞在する卒業生は皆それぞれの目的に向かって頑張っています。たまに顔を合わせると励ましあったりしてよい刺激になっています。



▲ヴァレリー・ゲロー先生のレッスン



◀写真上左から西岡 章博(11年大専修)、小橋 綾美(10年大卒)、森田 美穂(08年大卒)以上クラリネット  
写真下左から津田 衣利子(12年短卒)、阪越 由衣(12年大卒)以上サクソフォーン、鷹羽 萌子

## NEWリリース 大音関係者がリリースしたCD・本・楽譜などをご紹介



井上 麻子(講師)  
藤井 快哉(准教授)  
**Prélude**  
2778円(税抜)  
KONTA Inc. 0797-23-5996  
mail@konta.co.jp

**第7** 回佐治敬三賞(サントリー芸術財団)受賞により、一躍脚光を浴びた井上麻子&藤井快哉DUOによる待望のデビュー盤。世界的サクソフォーン奏者、クロード・ドゥラングル(本学客員教授)も大絶賛する極上の音楽性。アンサンブルの真髓が凝縮された一枚。



M24U(卒業生)  
**Music 2 you music 4U**  
1000円(税抜)  
M24U HP <http://carinomusica.wix.com/m-24-u-official>

**ウ** ォーカルユニット「M24U(エム・ツー・フォー・ユー)」の1stアルバムです。メンバー(猪之奥りな・阪西潤美・藤川晃史・岩崎慎也)は全員大音卒業生です。バックトラックをアレンジしたオペラの名曲や、オリジナル曲を含む7曲入り。HPで好評販売中です。「M24U」で検索してみてください!



大阪音楽大学クラリネットオーケストラ  
**クラリネットオーケストラの世界 Vol.2**  
2200円(税抜)  
株式会社トニック楽器  
bois@tonic-gakki.com  
06-4704-2002

**90** 年にクラリネット専攻生対象の「合奏」授業から生まれた大阪音楽大学クラリネットオーケストラ。結成以降一貫して本田耕一教授が指揮と指揮を担当し関西在住の作曲家への作品委嘱を積極的に行っています。ほかではなかなか聴くことのできない魅力あふれる作品を、その時々メンバーの力を集約したライブ録音でお楽しみください。



福田 進一(客員教授)  
武満徹 **ギター独奏作品集 他**  
1224円(税抜)  
全国のCDショップおよびamazon、他

**ナ** クソスの名プロデューサー兼ディレクター、ノーバート・クラフトとの出会いから生まれた「現代日本のギター音楽シリーズ」の第1弾。作曲家・武満徹を追悼し、献呈されたプロヴェールの「悲歌〜イン・メモリアム・タケミツ」ほか武満氏のオリジナル独奏曲すべてと、ビートルズの名アレンジを2曲。さらにプロヴェールによって没後10年目に再び書かれた武満氏への讃歌「ハープと影」を含む豪華なアンソロジーとなっています。



八田 惇(元教授)  
**リスト ハンガリー狂詩曲 第12番(アルフレッドコルトー版)**  
1400円(税抜)  
全国の楽譜販売店、amazon、他

**ア** ルフレッド・コルトーは20世紀前半のヨーロッパを代表するピアニスト。そんな彼の校訂した「コルトー版」の日本語編を手掛けて約30年。31冊目となりました。どうぞピアノの勉強の参考書としてお使いください。



和泉 耕二、熊谷 美紀、駒井 肇(共著)(教員)  
豊かな音楽表現のために  
**ソルフェージュ視唱曲集 第3巻 応用編**  
2800円(税抜)  
大阪音楽大学ソルフェージュ部会  
sol@daion.ac.jp

**ソ** ルフェージュ視唱曲集第1巻(導入編)、第2巻(発展編)に続く、第3巻(応用編)伴奏付き視唱曲と無伴奏視唱曲までできおり、ハ音記号による課題も含んでいます。伴奏付き視唱曲は表情豊かになつぷりと歌える曲が多く、それぞれの曲に音楽の内容について考えるためのヒントを掲載。大阪音楽大学の応用ソルフェージュの授業用テキストとして使用しています。

学内の各部門・施設から、役立つ情報をお届けします。

## キャリア支援センター

### 先輩からの「生の声」を就職活動に役立てよう

キャリア支援センターでは、皆さんの先輩である卒業生たちが在学中に記録した「就職活動記録」を閲覧できます。「試験問題は?」「面接では具体的にどんな質問がきた?」などすぐにでも役に立つ実体験が満載。面接の方法や実際に体験した先輩からのアドバイスなど盛りだくさん。ぜひ参考してみてください。



▲「企業編」「音楽教室編」に分けてファイルしています

## 学生支援センター

### 休講・補講情報をより便利に確認

今年度より休講・補講を確認していただく方法がより便利になりました。ポータルシステムにログインすると、履修中の科目についての休講・補講情報が一覧で表示。ただしレッスンについては掲示しませんので各自担当教員と直接調整してください。また休講になった授業は出席扱いとなりますが、補講がありますのでよく確認してください。



▲ログイン画面。個人宛のメール配信はしませんので必ずログインして確認してください

## 入試センター

### 作曲してみたい中高生! 基礎から学べる講座開講

「作曲をしてみたいけどどうしたらいいかわからない」という作曲に興味のある中高生のための「作曲講座」を6月21日(土)、7月5日(土)、20日(日)13:30～15:00に開講。また和声課題を添削する通信版も開講中。受講料は1参加(1郵送)につき1000円。電話(フリーコール):0120-414-015またはメール:info-nyushi@daion.ac.jpにてお問い合わせください。



▲講師は高昌帥准教授ほか本学教員

## 連携支援センター

### 誰でもわかる! 楽しくわかる! 音楽講座実施中!

#### オペラ物知り講座 (構成・お話し:中村 敬一)

第10期 第2回 7月15日(火)18:30～  
歌 それは繋がり 音の繋がり  
言葉と音の繋がり そして人の繋がり  
演奏:石橋 栄実(Sop.)、西尾 麻貴(Pf.)



#### ミレニアムホール特別講座 ～レクチャー・コンサート～ (プロデュース・司会:日下部 吉彦)

第56回 9月20日(土) 14:00～  
ドイツ・リートを生かすも殺すもピアニスト!!  
名歌手たちが必ず指名するピアニスト、  
岡原慎也のピアノの魅力は何か。  
演奏:岡原 慎也(Pf.)、加藤 かおり(Sop.)、小玉 晃(Bar.)



お申込み・お問い合わせ▶大阪音楽大学 連携支援センター TEL 06-6334-2249

## ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

### ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団が出演 オーケストラの日2014開催

3月30日(日)、豊中市立アクア文化ホールにて行われた「オーケストラの日2014」に出演しました。牧村邦彦指揮によりG. ビゼー作曲の歌劇「カルメン」より前奏曲でスタート。楽器のお話や指揮者体験コーナーなどを交え、後半には大阪府立豊中高等学校吹奏楽部との共演で「アルヴァマー序曲」を演奏。迫力あるサウンドで会場を魅了しました。

6月28日(土)、29日(日)には吹田のメシアターにて関西歌劇団によるG. プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」に、また7月19日(土)、21日(月・祝)にはびわ湖ホール「オペラへの招待」シリーズでR. ヴァーグナー作曲「ラインの黄金」に出演予定です。



▲コンサートミストレスの赤松由夏さんによる楽器のお話



▲豊中高校吹奏楽部との共演で「アルヴァマー序曲」

## 付属音楽幼稚園

### 生演奏で「歌ったり踊ったり」楽しもう!

2011年4月2日～12年4月1日生まれのお子さまを対象にした親子イベント「ようちえんであそび!」を月1回開催中。ピアノ生演奏をバックに歌ったり踊ったり思い切り遊びます。なんと大音生のコンサートも! 音楽が大好きなお子さま、音楽幼稚園に遊びにきませんか? 2012年4月2日～13年4月1日生まれのお子さまを対象にした「あそびのへや きらり」も開催中。

詳しくは幼稚園HPへ<http://daion.ac.jp/about/kindergarten>



▲スマホサイトもオープン! 大学HP→DAION MOBILE→一番下の「大阪音楽大学 付属幼稚園はこちら」をクリック

## 付属音楽院

### 大音の音楽教室!?

学生サロン「ばうぜ」でのランチタイムコンサートや1回完結の特別講座など、楽しいイベントが盛りだくさん! 卒業生や大人の方のための教養講座を約50講座も開講中。あなたにあった音楽がきっと見つかるはずです。受講資格はただ一つ! 「音楽に興味がある方」です。



▲クラスによって見学も可能。詳しくは音楽院事務室(A号館3階)までお問い合わせください (TEL: 06-6334-2909)

演奏会やオペラなど、大音関連の魅力的なイベントを紹介します。

# 演奏会 Information

OH=ザ・カレッジ・オペラハウス MH=ミレニアムホール

6月 10月

●=出演者 ■=場所 ◎=入場料 ☎=問い合わせ先 ※必ず主催者発表のものとお照しご確認ください。

## 大阪音楽大学主催公演

**第41回ミレニアム・スチューデント・コンサート**  
6/16(月)・18(水)・19(木) 18:00~  
■MH ◎無料(要整理券)

**第3回ミレニアムピアノコンサート 7/3(木)**  
開催中止となりました

**第4回ミレニアムピアノコンサート**  
9/16(火) 17:15~  
◎北川 恵美、小出 ひろみ、鳥居 知行 ■MH ◎無料

**豊中こども音楽フェスティバル**  
9/28(日) 14:00~  
◎豊中の小・中・高校生 他 ■OH  
◎無料(要整理券)

**第5回ミレニアムピアノコンサート**  
10/9(木) 17:15~  
◎木村 直美、小川 裕子、油井 美加子 ■MH ◎無料

**第51回オペラ公演 20世紀オペラ・シリーズ**  
「鬼娘恋首引」[カーリユー・リヴァー]

10/11(土) 17:00~  
10/13(月・祝) 15:00~  
◎指揮:山下 一史、演出:井原 広樹、(鬼娘恋首引) 番茶 姫:川口 りな、伊呂波句之助:中川 正崇、素天童子: 田中 勉 他 (カーリユー・リヴァー) 狂女:西垣 俊朗、 渡し守:樹 貴志、旅人:西村 圭市 他 ■OH  
◎一般7200円、シルバー6200円、 小・中・高校生3100円

**第42回ミレニアム・スチューデント・コンサート**  
10/16(木)・17(金)・20(月) 18:00~  
■MH ◎無料(要整理券)

お問い合わせ  
大阪音楽大学コンサート・センター  
TEL:06-6334-2242 <http://daion.ac.jp>

## 大阪音楽大学後援演奏会

**Wunderhorn Songs ~子どもの不思議な角笛~**  
6/29(日) 14:00~  
◎高津 綾子、藤川 晃史、藤本 紀子  
■西安寺(西宮市産所町9-12)  
◎一般1500円(学生[高校生以下]・シルバー[65歳以上])1000円 ☎090-3925-1818(高津)

**バリガムラン**  
ギター・クンチャナ20周年記念公演 喜びの島

7/6(日) 14:00~  
◎バリガムラン ギター・クンチャナ、松井 克宏、 後藤 京子 他  
■大阪市立阿倍野区民センター小ホール  
◎2500円(当日2800円) ☎070-5508-5864(小林)

**フレンドシップガラコンサート2014**  
8/4(日) 14:00~  
◎石橋 文恵、田中 郷子、田中 恵美 他  
■茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール  
◎一般1500円(当日2000円)、小学生以下500円 (必ず保護者同伴でお越しください)  
☎090-8239-6826(伊賀)

**ミュージアムコンサート四季シリーズ(夏)**  
芹沢 佳司・芹沢 文美 ジョイントコンサート  
8/31(日) 14:00~  
■兵庫県立美術館ギャラリー棟1Fアトリエ1  
◎3000円 ☎078-265-6655 (兵庫県立美術館ミュージアムショップ)

**マンハイマー・ピアノカルテット**  
9/7(日) 14:00~ ■東京建物八重洲ホール  
◎3000円(当日3500円)  
9/23(火・祝) 14:00~ ■逸翁美術館マグノリアホール  
◎2500円(当日3000円) ※両公演学生券2000円  
◎溝淵 そよか、嶋田 理恵、福岡 千架、宇野 友里亜、大森 健一  
☎mannheimerkm@yahoo.co.jp(マンハイマー-KM企画)

**古楽アンサンブル Harmonie d'Apollon**  
「バロックアンサンブルの愉しみ」  
9/12(金) 18:00~  
◎高津 綾子、近野 賢一、 マリオン・トロイベル=フランク 他  
■東梅田教会 ◎3500円 ☎0771-24-7008(廣岡)

**伊藤 勝 ピアノリサイタル 9/12(金) 18:30~**  
■林原美術館展示室(岡山市)  
◎5000円(食事付) ☎0797-22-7957(伊藤)

**バリアフリーコンサート~モンゴルの青い風~ Vol.32**  
9/23(火・祝) 15:00~  
◎M.サラカゲレル、山本 敦子、木村 孝夫、石原 光世、 花山 教子 大阪音楽大学大学院オペラ研究室  
■茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール  
◎1500円、ペア2500円(当日2000円、ペア3000円)  
☎072-622-9928(バリアフリーコンサート企画)

**土橋 薫 オルガンリサイタル**  
10/4(土) 15:00~ ■いずみホール  
◎3000円 ☎06-6876-8038(シオハマエージェンシー)

## 幸楽会後援演奏会

**リコーダー・オーケストラ**  
デル・ソール大阪 第7回コンサート  
6/28(土) 14:00~  
◎ザ・フェニックスホール  
◎1500円  
☎06-6363-7999(ザ・フェニックスホール)

**TRE FLAUTI DOLCI**  
7/11(金) 15:00~(昼公演)・19:00~(夜公演)  
◎向江 昭雅、水内 謙一、山本 佳美  
■ノフ・アコルデ音楽アートサロン  
◎3000円(当日3500円)  
☎06-6862-8855(ノフ・アコルデ音楽アートサロン)

**坂口 さやか チャペルコンサート 8/8(金) 19:00~**  
◎坂口 さやか、村上 恵利子、竹村 美和子  
■リーガロイヤルホテル ザ・クリスタルチャペル  
◎4000円 ☎06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

**ピアノ弾き語りHIRO ~ハートフルコンサート~**  
8/16(土) 15:30~  
◎HIRO、なりがわあきよ、田中 良太  
■大丸心斎橋劇場 ◎2500円(当日3000円)  
☎06-6613-3611(西宇)

**安川 忠之 テノールリサイタル**  
8/22(金) 19:00~  
■アルカディア・グレースホール ◎3000円  
☎0797-34-4333(公益財団法人アルカディア音楽芸術財団)

**音サブリ コンサート**  
8/23(土) 16:00~  
◎五十嵐 香美、上野 裕子、横 智花、山本あかね  
■ムラマツリサイタルホール新大阪  
◎2000円(当日2500円) ☎090-5012-7728(上野)

**世にも恐ろしいジョイント・リサイタル**  
8/24(日) 14:00~  
◎嶋本 晃、竹内 直紀、本家 規代  
■西宮市甲東ホール ◎3000円  
☎0798-74-5017(関西アーティスト音楽事務所)

**Duo-Scherzo ピアノデュオリサイタル**  
結成30周年 Anniversary  
9/7(日) 14:00~  
◎中尾 恵、松尾 美保  
■なら100年会館中ホール  
◎一般3000円、学生1500円  
☎0742-34-0100(なら100年会館)

## 「ON-AR」でMuseオリジナル動画を見よう!



作曲のレッスンはこんなふうに行われている!  
さっそくスマホでのぞいてみませんか?

スマートフォンをかざすと動画を見ることができ  
ます。アプリ(無料)をダウンロードして今月は次  
の3つの動画を見てみよう!

今号は次の3つの動画を見てみよう!

- 特集連動企画「ポピュラー・コース レッスン」(P4)レッスン風景を見ることが出来ます
- 特集連動企画「ポピュラー・ヴォーカル・セミナー」授業風景(P4)
- 動画ニュース「DaionCollection」右の写真をかざすと高昌帥准教授の作曲レッスン(レッスン学生: 山元亮一さん・大3)の様子を見ることが出来ます

まずはアプリ(無料)をダウンロード!



▲高昌帥准教授の作曲レッスンの様子

## 編集後記

次号は9月16日発行予定です

創立100周年を迎える2015年を前にオープンした特設サイト「100周年史」(詳しくはP12をご覧ください)。大学の誕生から成長、そして今に至るまでをビジュアル資料をもとに年表と記事でつづっています。100年前は学生のほとんどが着物姿なのも年月の長さを感じさせますね。ぜひご覧ください。(は)

## 最新情報を配信中!

こちらのSNS配信サービスからも大音情報をチェックできます。



学校法人 大阪音楽大学広報誌「Muse」  
vol.230 2014年6月16日発行  
●発行:学校法人 大阪音楽大学 〒561-8555  
豊中市庄内幸町1-1-8 TEL:06-6334-2904  
FAX:06-6334-2141 <http://daion.ac.jp>  
●制作・編集:広報室 [muse@daion.ac.jp](mailto:muse@daion.ac.jp)  
●デザイン協力:(株)産業編集センター

## 何かを「正しい」と感じたとき、 ちょっと考えてみてください

「悪の十字架」や「恐怖の味噌汁」をご存知ですか？ 日本語って楽しいですよ。2009年に亡くなった日本のコピーライターの草分け、土屋耕一さんの「軽い機敏な仔猫何匹いるか」(これ回文です。逆さまに読んでみてください)なんて、口をあぐり開けて作者の職人芸にあぜんとし、感動してしまいます。そして日本語ってすごいな、と思います。日本語には母音は5つしかなく(「お」と「を」は同じ発音です)子音も限られているところから同音異義語が多いので、こんな芸当もできるわけです。よく日本語は論理的な表現には適さないといわれますが、情緒的な表現には向いています。すべてを言い尽くさず余韻を残す、そこに和歌や短歌・俳句のような短詩形が成立します。

言語を含めて、文化というのは場所によって異なるからおもしろいのであって、いい悪いということはありません。日本語は平仮名が45文字、片仮名もあって常用漢字が約2000字あるのに対して、アルファベット26文字の英語が、言語として優れているというわけでも、5音階より7音階が優れているわけではありません。そして、どの言語にも言

葉遊びというのがあって(何でも遊びにしてしまう人間の才能に乾杯!)、世界中の人間が言葉を持ち、それぞれの言語はそれぞれの素晴らしさを持っています。宗教や文化の違いから世界各地で紛争が起こっています。日本でもヘイトスピーチが問題になっていますが、憎しみや嫌悪からは何も生まれません。言語を「正しい」とか「間違っている」という基準で判定することはできませんし、それぞれの人にとっては、自国語が一番なのは当たり前です。やみくもに自らの優位を主張しない、他人を不当におとしめない態度が世界を救います。

最後に野球の実況中継から。「ノーアウト、ランナー1塁、バッター、バントの構え、ピッチャー、プレートを外して一つ間を取りました」「え、人妻を盗りました？」世の中どこにでもちょっとした楽しみは転がっています。



いけだ しげかず ●大阪音楽大学音楽学部、ドイツ国立アーヘン音楽大学卒業。90年から2011年まで大阪フィルハーモニー交響楽団のトップ奏者として在籍。宮川彬良とアンサンブル・ベガのメンバー。日本ホルン協会理事。

## 一瞬の判断力が求められるオートバイの旅 演奏会の本番中もまた同じこと

教員  
リレー  
エッセイ  
Vol.12

ホルン・准教授 池田 重一

次号は  
上塚 憲一先生に  
お願いします。  
趣味のお話も  
聞きたいです!

**仕** 事柄 全国津々浦々いろいろな所へ旅することが多い私。電車、車、飛行機などさまざまな手段で行きますが、中でもオートバイで行く旅が好きです。高校を卒業してすぐに原付免許を取り、自転車のように自分でこがなくても走ることに感動!はまってしまいました。以来、大型二輪まで免許を取り、大学時代からずっと乗り続けています。オートバイは車と違います。違います! 危ないです! しかし自然を肌で感じる事ができます。雨が降ったら濡れますし、夏は暑いし冬は寒い。当たり前のことですが、普段の便利な生活を送っていると忘れがちなことを覚えてくれます。車のように困いがありませぬので、気温の変化と風の「匂い」を敏感に感じます。季節の変わり目は特に。街中から郊外へ移動すると、気温差は物凄くはつきりとわかります。ベストな気温は20〜25度。暑くもなく寒くもない期間は年間数日。かなり限られた期間です。残りの期間は結構シビアな状況が多いかもしれません。オートバイにとって雨と風は悪条件、できれば避けたいところです。

以前、北海道に演奏旅行に行っ

た帰りに台風に遭い、札幌から道で1500キロ、雨の中を3日間ずっと走りました。さすがに辛く修行のよう。「自分が行くって決めたよな」「何してるんやろ」と、自問自答しながらの旅でした。

基本的にオートバイはひとりです。のでヘルメットの中はいつも孤独。いろいろな考えが頭の中を駆け巡ります。ルートを決めることは意外に判断力が必要で、右の道へ行くか左の道に行くかは自分で決めなくてはいけません。右の道へ進んで雨に降られても自分が選択した道、仕方ありません。これは演奏会の本番中と似ています。本番中は、自分の判断で前に進まなくてはなりません。道の選択と同じ、一瞬の間いろいろなことを選択し、ベストな演奏を考えているのは全く同じ作業だと思えます。

出発して予想外な場面に遭遇。でもいろいろなことがあるからこそおもしろい。音楽も然り。目的地にたどり着く「達成感」を味わえるような演奏ができれば素敵ですね。



これが愛車。春夏秋冬一緒に旅してます